

(学年) 第1学年, (教科・科目) 外国語・コミュニケーション英語 I

協同学習

(単元) Activity corner 3 大切なものは何？

(本時のねらい)

本単元は、論理的に主張する表現力、さらに相手の意見を聞き取り、賛否を述べる対話力を養うよい機会である。また授業支援クラウドアプリの録音機能を発表準備段階で活用し、相手により正確に伝えることができるよう、英語の発音や話すスピードにも注意させたい。

(ICT 活用方法)

導入：前時までの活動内容を電子黒板に映し出し、扱っているテーマや学習したフレーズの確認を全員で行う。また、それぞれの生徒の授業支援クラウドアプリに配布したワークシートと同じものを電子黒板に映し出し、本時に行う活動内容を提示する。始めに全体で確認することで、ソフトの扱いに慣れていない生徒たちもスムーズに活動に入ることができる。

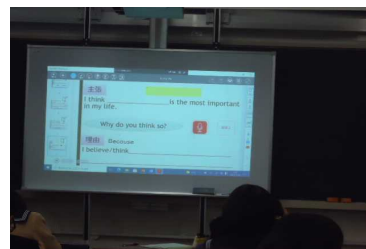
展開：前時に授業支援クラウドアプリで録音した英作文を再度聞き直し、教員からのフィードバックを付箋機能を用いて確認する。フィードバックをもとに、改善した内容を、録音機能を用いて再度録音し提出する。時間や場所を余分に使う必要がないため、発音練習とフィードバックを効率的に行うことができる。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	I C T活用方法
導入 5分	・活動内容の確認, 1人1台端末(授業支援クラウドアプリ)の準備	・電子黒板を用い, 前回までの活動内容を振り返らせる。	・前時までの活動内容を電子黒板に映し出し, 扱っているテーマや学習したフレーズの確認を全員で行う。
	・前回録音した発表内容を聞き直し, 改善点を考える。 ・教員からのフィードバックを確認し, 発音練習を行う。 ・ディベートの原稿を	・自分の発音の特徴に気づかせる。 ・アドバイスをそれぞれの生徒に授業支援クラウドアプリで提示し, 発音に注意させる。 ・ワークシートに自	・前時に授業支援クラウドアプリの録音機能で録音した英作文を再度聞き直す。 ・教員からのフィードバックを付箋機能を用いて確認する。 ・録音機能を用いて発音練習を行い, 再度録音し提出する。

<p>展開 40分</p>	<p>作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアでディベート活動を行う。 ・ペアの相手进行评估する。 ・数組は全体で発表する。 	<p>分が作成した英文を記入させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価基準を提示し、項目を意識させてディベート活動を行わせる。 ・評価基準に沿って、ペアの相手进行评估させる。 ・活発に活動しているペアを選び、全体で発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒に配布したワークシートを電子黒板上に映し出し、活動内容を確認する。 ・表現を忘れた際に手助けとなるよう、電子黒板上に対話の例と評価基準を提示する。
<p>まとめ 5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価を入力してワークシートを完成させる。 		

(授業の様子)



1人1台端末を用いて、教員からのフィードバックを確認し、音声を録音している様子

(生徒の反応と課題、改善を要する点)

授業支援クラウドアプリを用いた発音練習では、録音した音声を再度聞き直す時間や、一人一人異なったフィードバックを確認する活動が含まれていたため、生徒が自分の作成した英文や英語の発音により興味を持ち、意欲的に活動に参加することができていた。改善点としては、録音機能を用いる際は、ヘッドセットを使用し、より正確でスムーズな活動を心がける必要があり、環境を整えることの重要性を感じた。また付箋機能でもめくることができない生徒がいたため、日常的にICTや学習ソフトを使用し、教員生徒ともに電子機器を活用する能力を高めていく必要がある。